



# 陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2020年1-3月号

Vol.50

## 支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつもお祈りと尊いご支援を心より感謝いたします。

1月29日に、次女の「ななみ」が無事に誕生しました。昨年の秋に夫婦で話し合い、箴言24章16節に「正しい人は七度倒れても、また起き上がり、」とあるような「レジリエンス;resilience」を備えた人になってほしいという願いから命名しました。レジリエンスというのは「回復力、柔軟性、復元力」と訳されたりしますが、「困難を抱えたとしても、その状況に自分自身を対応させていく能力」のことを言い表す心理学用語でもあります。今の時代に「倒れない人」はいませんから、「何があっても倒れない強さ」よりも、「何度倒れたとしてもそこから何度でも笑って立ち上がる強さ」のほうがたいせつだと日々思われています。私もまた次女を育てる中で、自分の中のレジリエンスを育てていけたらと願います。4人になった陣内家を、今後も祈りに覚え、応援いただけましたら幸甚です。



2020年1月29日に次女「ななみ」が誕生



次女のななみを抱く長女のかなえ（2歳半）

## 令和という「不確実な時代」の宣教戦略について

1月13日に、練馬グレースチャペルが所属する基督聖協団の新年聖会で奉仕させていただいた際、「時代を見分ける（ルカ12：56）」というテーマでワークショップを担当しました。右肩上がりの昭和後期、停滞の平成を経て、令和の現代はどのような時代なのでしょう？経済思想家のナシーム・N・タレブは著書『反脆弱性』のなかで、「予測と統御」式思考が無効な現代を「不確実な時代」と定義し、「バーベル戦略」という二峰性の戦略こそがこの時代を生き抜くカギだと主張しています。バーベル戦略というのは見た目のとおり二峰性（山がふたつある）の戦略のことで、一方では「確実に出来ること」を続け、もう一方で「いろいろ試す」ことを指します。「伝統か革新か」という二者択一ではなく、本質的な意味に立ち返りながら伝統を守りつつ、新しいことを「いろいろと試してみる」ことを並行して行うことが、大きな変動性に対して私たちを「反脆く」するのだというのがタレブの主張です。

ここ数年、私がこのアイデアを分かち合ったことに触発されてこの戦略を採用入れた日本各地の教会が、躍動感と共に様々な働きを展開しているという手応えを得ています。日本には「失敗は悪いことだ」とする文化的な条件付けが強いですが、特に現代のような時代には、「失敗しないことを優先させた結果の停滞」こそ「極大のリスク」になります。たいせつなことを手放さず、なおかつ新しいことを試し続ける、ということを支援者の皆様と共に私も実践していきたいと願っています。

### 新たな試み「支援者の皆様へのYouTube動画ボイスメッセージ」

今号のプレーヤーから新たな試みをさせていただきます。お手紙ではなかなか伝わらない働きの現実や生活の息づかいを、動画（音声）で分かち合わせていただきます。下のQRコードを読み取っていただきますと、支援者の皆様だけが視聴できる限定公開のYouTubeでのボイスメッセージをご覧いただけます。皆様とより近く共に歩むことができるためのひとつのチャンネルになればと願いつつ、さしあたり今年いっぱい続けてみようと思います。これもまた私の小さな「バーベル戦略の実践」です。



限定公開ビデオの  
QRコード



音声のみのバージョンの  
限定MP3音源はこちら



## メッセージ要約「ダニエルから学ぶ困難な時代の働き方」

主題聖書箇所：ダニエル書 6 章 10 節

2020 年 2 月 9 日、練馬グレースチャペルにて礼拝メッセージ

\* Youtube/Podcast にて視聴可能ですので検索してみてください



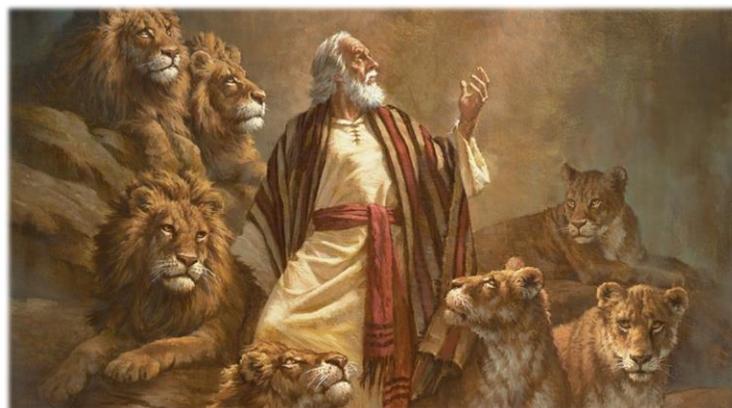
昨年 6 月後半に、皆様に祈っていただいて、Global Workplace Forum (以下 GWF) に参加するためマニラを訪問しました。GWF のテーマは「社会のすべての領域に神の国のインパクトを」とあり、「Business is Mission (仕事は神の働きそのものだ)」ということが強調されていました。仕事は神の働きの最前線です。では、現代のビジネスパーソンが最も参考にすべき聖書の登場人物は誰か？それはダニエルだ、と GWF で登壇した著名な神学者たちは口をそろえました。

なぜか？ダニエルと現代の我々が共有する三つの文脈があります。1. 長寿（ダニエルは 90 歳より長生きした）2. 複数の仕事を渡り歩くキャリア（2つの王国、4人の主人にまたがって仕えた）、3. 異教社会（バビロン・

ペルシャで神に仕えた）です。1、2 に関してはリンダ・グラットン氏が著書『LIFE SHIFT』で指摘しているように、「人生 100 年時代」には生涯ひとつの職場で過ごす人は少数になり、複数の仕事を渡り歩く「マルチステージの人生」が標準になります。また、欧米圏も世俗化が進んだ今、一部の例外を除く世界中のビジネスパーソンは「非キリスト教的な価値観のなかでイエスの弟子として生きる」という二律背反の矛盾を乗り越えて神の国を実現していかなければなりません。ダニエルの生き方はこのような時代を生きる私たちに多くの示唆と勇気を与えてくれます。彼から私たちが学べることは次の 5 つです。1. 卓越を目指せ、2. 仲間と共に、3. 雇い主の向こうに主を見よ、4. 絶えず祈れ、5. ライフステージで役割が変わることを心得よ。こ

ダニエルは異教国家バビロンの誰よりも知恵と知識と洞察において卓越していた、と聖書は記しており、彼にとって 3 人の友人たちはなくてはならない信仰の支えでした（ダニエル 1 : 17）。また、彼は「日に三度」、エルサレムの方角を向いて祈りを捧げていたことが記されており（6 : 10）、側近として王たちに仕えながらも、本当はその向こうにおられる神に仕えていました（3 : 18）。また、晩年の彼は実務的な働きよりも黙示的な幻を書き記すことに働きの重心を移しました（12 : 9）。

現代を生きる私たちはその仕事において卓越を目指し、同じ志を共有する信仰の友人を持つべきです。また日々の仕事のなかで頻りに祈りながら、上司、顧客、部下、同僚の向こう側に主を見るべきです（コロサイ 3 : 23）。そして、加齢のために出来ていたことが出来なくなるということは、ムダなことをしなくなり、本当に必要なことに集中していく、という人生の仕上げの時期とも言えます。若いときには出来なかった種類の「神の国の貢献」を、高齢になった信仰者はすることが出来るのです。これらのことを踏まえながら働くなら、あなたの仕事がどんな業種だったとしても、その日々の仕事はこの世界に神の国を建設していく主の働きに他ならないのです。



## 祈りの課題

- ◇家族に次女のななみが増えられた陣内家が、4人の生活に慣れ、働きや生活がますます神に栄光を帰するものにされていくように。産後の純子の健康が守られるように（乳腺炎からの守り）。
- ◇FVIでの活動を通して神の国の建設のために貢献していけるように。
- ◇体調管理をうつ病の再発などのリスクから守られ、俊が健康に神に奉仕出来るように。
- ◇FVI、および「陣内俊を支える会」の経済的が必要が支えられ、働きが継続していけるように。

## 2020年4月以降の主な活動予定

月 日	内 容	場所、補足
8月上旬	義兄の結婚式のため訪米／ボブ・モフィット氏を訪問	テキサス／アリゾナ（予定）
10月26日	FVI総会	本郷台キリスト教会
11月13～14日	よにでしセミナー・第四期	芸森スタジオ（札幌）
随時継続的に	包括宣教の各種活動	国内各地

\* 上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

## 連絡先（奉仕・各種仕事のご依頼はこちらへ）

陣内への Email [shun@karashi.net](mailto:shun@karashi.net) 無料メルマガ、YouTube 放送、ブログなど→「陣内俊」で検索

## 支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座  
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」  
(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

- \* 振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- \* 振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
- \* Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。